

【健育会グループの病院・施設で働いて感じた 仕事のやりがい】

職種：看護師 勤続年数：21年4ヵ月

時期：平成30年8月

透析看護に携わった24年を振り返って

私は透析看護に携わり約24年になります。透析治療の世界も医療の進歩に伴い、変化を遂げてきました。腎性貧血などに対する治療の進歩、オンラインHDFの導入により合併症治療も進歩しました。反面、糖尿病による透析導入が約半数と変わらないこと、高齢化に伴う導入年齢の上昇、長期透析による高齢化により介護度もあがっています。認知症があると、ご本人とのコミュニケーションでは状況把握が難しくなっています。最近も末期癌で緩和に入られた方が入院透析でなく、最期まで当院で外来透析し、自宅で過ごしたいという希望がありました。透析時間内のケアだけでなく、家族やその方の背景や生き方など、その人らしさを追求する透析看護も必要となってきました。包括ケアシステムの構築に向け、外来透析の役割は、院内の多職種連携にとどまらず、他病院や訪問看護ステーションなどとの看看や、地域との連携の将来像や、在宅における透析患者さんがその人らしく人生を歩む為に、私達はどのようなケアをすべきなのか、私自身、あと残された看護師人生をどのように進むのか模索して毎日、患者さんと接していくのが、今の私の生きがいです。